



日台協力を視野に 光電産業が積極攻勢

2月25日～27日まで東京で盛大に開催された「第8回国際太陽電池展(PV EXPO 2015)」に南科関連企業6社が出展し、南科管理局も26日に会場で「台湾南部科学園区工業グリーンエネルギー低二酸化炭素産業集落紹介」を発表し、園区をアピールしました。今回のコースでもJRI、日立先端、日立国際電気、NCI、SONYなど日本企業を訪問し、交流連携のチャンスを求めました。



▲ 南科訪問団はNCI会社へを訪問(2015.02.26)



▲ 「華南国際口腔展」出展実況(2015.04.05)

商機を求めて華南へ

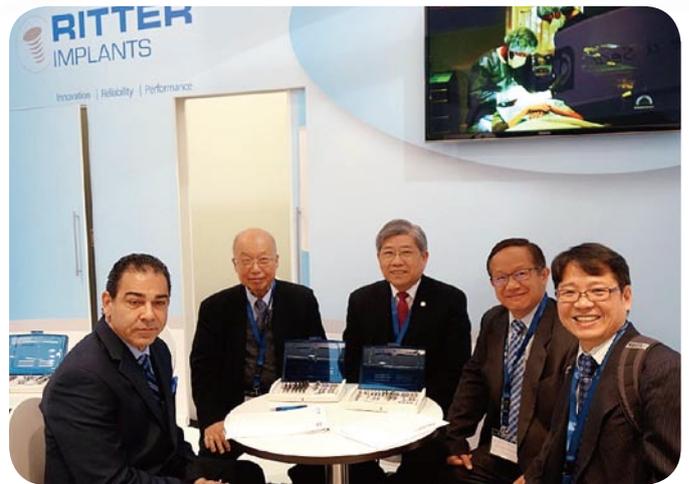
療器材メーカーの海外市場開拓を支援するため、南科管理局と金属センターは入居企業8社とともに4月5日から8日まで広州で開催された「華南国際口腔展」に出展しました。客足の絶えない大盛況の展示会場で、南科のブースも多くの海外バイヤーの関心を集めることができました。



▲ 「華南国際口腔展」出展者記念写真(2015.04.05)

ケルンを訪問 視界を開拓

南科医材産業集落を発展し、園区医材企業製品の国際知名度をアップし、南科管理局は3月7日～16日の間、金属センター及び園区企業10社と手を組んで36回ケルン国際デンタルショーに「台湾歯科精品形象館」のイメージで出展し、南科医材集落の発展成果を現れ、業者にも注目されました。今回のドイツ訪問も光宇会社とドイツ大手歯科設備流通会社Ritter Concept GmbHの協力、またソーラーパネルのソーラーパネルinverter、Lti REENERGY両社にも訪問し、将来南科へ投資の可能性を尋ねました。



▲ 南科訪問団がRitter Concept GmbHを訪問(2015.03.13)



▲ 南科訪問団が京都リサーチパークを訪問(2015.04.23)

セミナーMEDTEC Japan 南科医材異彩を放つ

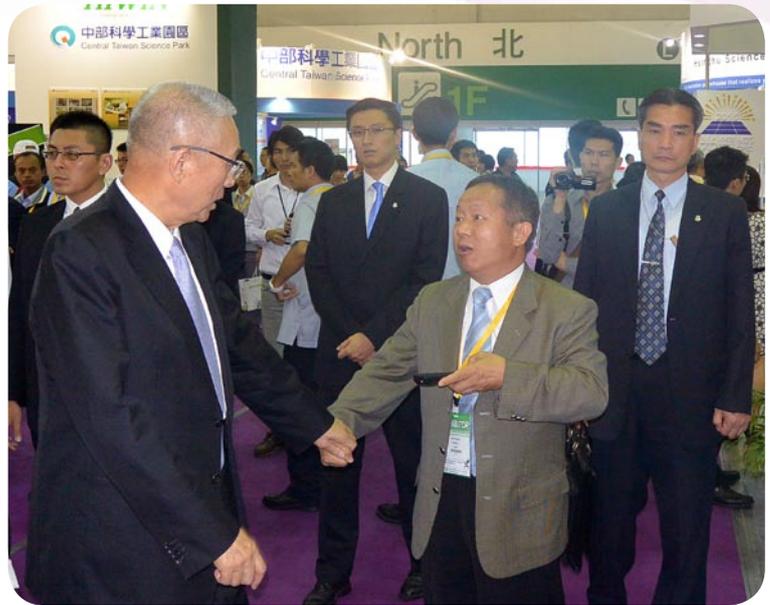
園区医療設備企業の国際進出を推進するため、4月22日～24日まで園区企業10社と日本のMEDTEC Japan医材展に出展し、医材企業製品のアピール、南科医材集落を視界に入れることに成功しました。また、一行も京都リサーチパークへを訪問し、両者の連携、お互いの良好関係を築くことを望んでいます。



▲ 日本を訪問、南科チーム最高！(2015.04.23)

国際光電展に出展 南科の未来を照らす

「2015年国際光電展 OPTO Taiwan」が6月16日～18日まで、台北の世貿中心南港展覽館で開催され、世間に南科光電発展の現状を知らせて、南科管理局と入居企業6社が共同で出展しました。南科主題館には呉敦義・副総統のほか、国内外の商社や企業の代表が相次いで訪れるなど、南科の光電産業に各界から熱い視線が注がれました。



▲ 南科管理局局長林威呈(右)が副総統呉敦義(左)に南科光電産業の発展成果を紹介。副総統は「よくやった」と評価(2015.06.16)

バイオ展のため訪米 南科をアピール

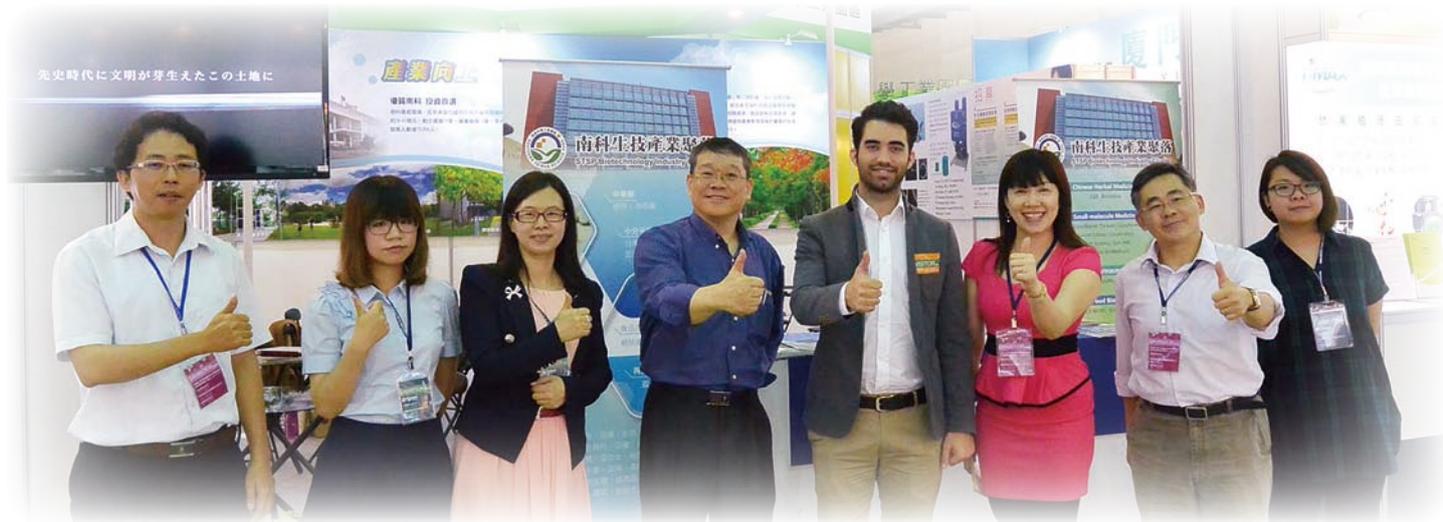
園区企業が国際進出することを推進するため、6月15日～18日まで、行政院政務委員顏鴻森が行政院科技部会報オフィス、科技部、南科管理局、南科企業など、台湾産、官、学、研、百人を超える台湾生技訪問団を率いて「2015年BIO International Convention」に参加のため訪米しました。



▲ 科技部政務次長錢宗良(左4)、台湾ニューヨーク経済文化オフィス処長章文樑(左5)、南科管理局副局長蘇振綱(左6)等の台湾訪問団の記念写真(2015.06.16)

台湾生技大展での共同展示に各界が注目

「2015年台湾生技大展 Bio Taiwan」が7月23日～26日まで、台北の世貿中心南港展覽館で開催されました。南科からは入居企業9社が共同で「南科バイオ産業主題館」を出展し、国内外の商社や企業の代表の注目を集めることができました。



▲ 園区パートナー、南科管理局と協力して南科生技産業をアピール(2015.07.24)

生技緑能展に出展 大きな成果 そして機先を制する

南科生技産業をアピールするため、9月18日～21日まで台南南紡世貿展覽センターで開かれた「2015 台南国際生技緑能展」に入居企業7社が共同で南科主題館を出展し、国内外流通会社と企業に注目され、南科のバイオ、グリーンエネルギー産業を成功にアピールしました。



▲ 見学者は儕陸生技のアイマスクを体験(2015.09.18)



▲ 日本企業ディスコを訪問 (2015.11.12)

アジアサイエンスパーク協会年会で 企業誘致及び南科をアピール

アジアサイエンスパーク協会19回年会は11月8日～11日までかながわサイエンスパーク (KSP) で開き、南科管理局では副局長蘇振綱が率いる訪問団は日本、タイ、インド、イランなどアジア各国科学園区からの参加者と南科開発の経験を交流し、年会中も休まず、株式会社クリエイティブテクノロジー、株式会社ディスコを訪問し、日本会社も台湾への投資に対して良好な反応が得られました。